



# 嚶鳴小だより

No. 3

R7.7.7

『夢に向かってがんばる 嚶鳴っ子の育成』

## もうすぐ夏休み！

運動会が終わり早一ヶ月が過ぎました。運動会では、「日本一楽しい運動会にしよう！」という呼びかけのもと、どの競技でも精一杯頑張る姿や仲間に力一杯の応援を送る姿がたくさん見られました。雨天のため一日順延しましたが、多くの保護者の皆様や地域の皆様が応援に駆けつけてくださり、実施することができました。ご協力に感謝申し上げます。

さて、もうすぐ夏休みを迎える時期となりました。44日間の長いお休みですので、生活のリズムをこわさないよう、まずは規則正しい生活を心がけ、夏休みにしかできない挑戦をして、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと願っています。夏休みは、公民館等が主催する体験学習会やお祭りなど、普段と違った体験が用意されています。また、じっくりと読書をしたり、好きなスポーツに打ち込んだりする時間もたっぷりあります。様々な体験をする中で、たくさんの人とつながり、新しいことに気付きながら、また一つ成長してほしいものです。どんな夏休みにしたいか、ぜひ、親子で相談し、目標を立ててみてはいかがでしょうか。

夏休み前には、各学年で生活や学習の仕方について指導します。ご家庭におかれましては、健康で安全な生活を送り、子どもたちが主体となって意欲的に過ごすために、7月下旬に行わせていただく個別面談での話し合いも含め、子どもたちの見守りを願います。

9月1日、全員が元気な姿で登校してくることを心待ちにしています。

## 夏休みは読む力を向上させるチャンスです

今年度、嚶鳴小学校では、子どもたちの学力向上に向けて「読む力を育む授業づくり」を目標にして取り組んでいます。**めざす児童像は、「教科書の文章の意味を正確に理解することができる」です。**

全国学力学習状況調査の分析でも、問題の文章を理解すること、条件を理解し自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが課題として明らかになりました。

学校で行っている取組で、**家庭でも実践できること**を紹介させていただきますので、**夏休みの家庭学習（自学）の参考**にしていいただければと思います。

### ①音読

- ・音読は、目で見えた文字を強制的に言葉にすることによって言葉のまとまりをとらえる力をきたえる活動です。
- ・「目で見えて」、「声に出して」、「耳で聞く」という3つの手段を用いて言葉のまとまりをつかむ力を強化していきます。
- ・音読を繰り返していくと、次第に声に出さなくても目で言葉のまとまりをつかまえられるようになります。そして、内容が理解できるようになります。
- ・「国語」だけでなく、全ての教科で取り組んでみるのもおすすめです。
- ・漢字を読むのが苦手な場合は、ふりがなをふってあげると効果的です。

## ②視写（スピード視写）

- ・視写をすることで、言葉のまとまりをとらえる力が育ちます。
- ・視写をする際には、ある程度の速さを求めることが肝心です。速く写すためには、書いてある内容をできるだけ大きな言葉のまとまりでとらえ、それを記憶しながら写していく必要があるからです。
- ・書く前に必ず視写する文章の音読を行います。音読で言葉のまとまりをとらえる力を鍛え、さらに視写でそれを強化します。
- ・毎回、タイムを計って意欲を持続させることが大切です。

## ③暗唱

- ・暗唱をすることで、頭の中に言葉の貯金をたくさん作ってあげると言葉のまとまりをとらえる助けになります。
- ・色々な種類の文章に触れることで、いつも自分が使っている言葉とは違う種類の言葉や文章に触れることができ、その結果、様々な文章表現に対応できるようになります。
- ・初めは短いものを覚えさせ、慣れてきたらだんだんと長いものに挑戦させるのがポイントです。
- ・発達段階にあわせて、詩文に取り組むのがおすすめです。リズムやテンポの良い5・7音で作られた詩文からスタートしましょう。

## ④読書

- ・読書を通じて、普段の会話では使わないような言葉や文章表現に触れ、語彙力や読解力を高めることができます。
- ・本は、子どもたちの想像力を刺激し、未知の世界や様々な知識を教えてくれます。
- ・子どもの興味のある本を選びましょう。そして、本を手に取りやすい環境を作ったり、公共の図書館に一緒に出かけたりすることも効果的です。
- ・子どもが学校や図書館などから借りてきた本を大人も一緒に読んで、感想を共有するのも良いでしょう。